



路線の概要

一般国道432号は、広島県竹原市を起点とし、松江市へ至る延長約210kmの路線であり、島根の『つなぐ道プラン2020』において、骨格幹線道路^(※)に位置づけられています。

※骨格幹線道路：高速道路整備によるストック効果を早期に全県に波及させるとともに、災害時や緊急時の輸送路として重要な役割を担う道路

地域の皆様とともに検討しています



道路整備計画案の作成にあたっては、地元住民からなる「国道432号(鼻曲・大庭地内)道路整備専門委員会」「国道432号古志原工区道路整備委員会」の皆様を検討、調整していただきました。また、検討の各段階で地元説明会等を開催し、広くご意見を頂きながら計画案をまとめました。



事業の経緯

平成14年	概略検討
平成20年	道路予備設計
平成21年	道路整備委員会発足、ワークショップ開催
平成23年	国庫交付金事業化、詳細設計
平成24年	用地買収開始
平成25年	工事着工
平成27年	電線共同溝整備道路指定
平成28年	電線共同溝工事開始
令和5年	県工事完了

古志原道路整備委員会歴代委員の皆様

会長	門脇 光男
会員	熊谷 和恭
	境 司
	佐藤 千代光
	三原 浩良
	山本 茂樹
	安部 茂
	北原 則夫
	堀内 伊助
	齋藤 文雄
	竹谷 強
	松本 祥一

(問い合わせ先)

島根県松江県土整備事務所
土木工務第三課

〒690-0011松江市東津田1741番地1

TEL 0852-32-5750

祝完成

国道432号道路改良事業 古志原工区

島根県松江県土整備事務所



ごあいさつ

このたび、未整備となっていた約200m区間の工事が完了し、国道432号古志原工区全区間約840mの整備が完成供用となりました。

これまで長期に渡る交通規制等に対しご協力をいただき、誠にありがとうございました。

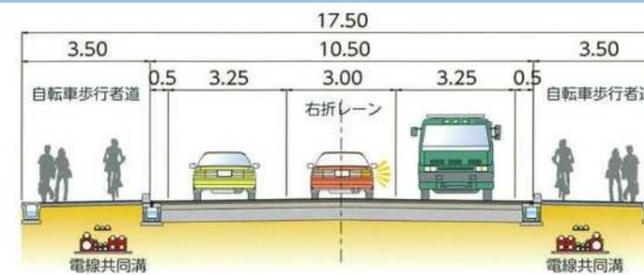
国道432号の松江市古志原区間は、市街地部で1日12,000台に及ぶ車が通行するにも関わらず、右折レーンがなく、また、歩道も非常に狭いため、朝夕の渋滞に加え、歩行者・自転車の安全な通行に支障が生じていました。

平成23年度から整備を進めてきました古志原工区の完了により、これらの課題が解消され、沿線地域の安心・安全、そして、発展につながっていくものと期待しております。

本事業のために貴重な用地を提供いただきました地権者の皆様、優れた技術と熱意をもって完成にご尽力いただきました工事関係の皆様、そして事業の推進に温かいご支援を賜りました多くの皆様に重ねて厚く感謝を申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

島根県松江県土整備事務所長 森脇 孝

【標準断面図】



歩道が完成しました！

今後、電線を地中化し、R8年ごろまでに電柱がなくなります。



歩道がなく、車道も渋滞していました。



歩道が完成し、安全に通行できるようになりました。

